

平成24年度 事業報告

- ・墨田さんさん会本部 【P. 1～4】
- ・墨田さんさんプラザ 【P. 5～12】
- ・すみださんさんるーむ 【P. 13】
- ・ワクワク工房デイサービス 【P. 14～16】
- ・亀沢七福福祉作業所 【P. 17～21】
- ・向島七福福祉作業所 【P. 22～25】
- ・ほーむ大洋 【P. 26～27】
- ・ほーむアンブレラ 【P. 28～29】
- ・相談支援センターさんさん 【P. 30】

社会福祉法人 墨田さんさん会

平成24年度 墨田さんさん会本部 事業報告

1 事業報告

平成24年度は墨田さんさん会の新たな事業として相談支援事業「相談支援センターさんさん」を開設いたしました。本部では側面から事業の立ち上がり等を支援してきました。

以下、24年度本部事業について報告いたします。

(1) 再雇用制度の制定

平成25年度4月より改定高年齢者雇用安定法が完全施行されることにより、継続雇用制度の導入が理事会、評議員会で決定されました。このことにより、再雇用職員就業規則を新たに作成致しました。それに伴い常勤職員の就業規則の改定を行いました。

(2) 職員研修の充実

福祉施設にはその施設にふさわしい知識や技能が必要となります。職員は多忙を極める中充実した研修を行ってきました。(研修受講記録参照)

(3) 施設概要の作成

6施設7事業所の総合パンフレットを作成致しました。又、施設ごとのパンフレットを作成いたしました。

(4) 職員の福利厚生制度について

かねてより福利厚生制度の充実を指摘されていたことから、いろいろな検討を行ってきました。外部事業者に委託することで幅広いサービスが受けられる点から福利厚生代行業者を比較し検討した結果、もっとも利用しやすい「ベネフィット・ワン」に決定することとしました。その結果、職員の使い勝手に対する評価も好評のようです。

(5) 第三者評価について

今年度も引き続き第三評価の受診を行いました。設立以来、同じ事業者でしたが、新しい視点での評価に期待して評価機関のNPO法人「福祉経営ネットワーク」に依頼いたしました。

本部については、組織が大きくなってきていることを踏まえた人材育成の仕組みを検討されたいとの提言がありました。

2 理事会 評議員会について

当法人の実施事業にかかわる重要事項を審議するための理事会・評議員会は、次のとおり開催しました。

①理事会

回	開催日	主な審議内容
1	5月30日	24年度事業報告・決算報告・監査報告について 議案1号平成23年度事業報告 議案2号平成23年度決算報告 議案3号平成23年度監査報告 議案第4号 理事・評議員の就任について 議案第5号 事務長の就任について
2	8月30日	議案第6号 24年度新規事業進捗状況について ① 水耕栽培 ② 相談支援事業 ③ 施設清掃について（就労支援センター） 議案第7号 職員の福利厚生制度について
3	10月15日	議案8号 理事・監事・評議員の改選について 職員の定年制について その他 プラザまつりの開催について
4	25/1月24日	議案第9号 継続雇用制度の導入について 議案第10号 再雇用職員の就業規則、給与規定の変更について 議案第11号 常勤職員の就業規則・給与規定の変更について
5	25/3月28日	議案第12号 平成25年度予算について 議案第13号 平成25年度事業計画について 議案第14号 セクシャルハラスメント・パワーハラスメント・マタニティハラスメントの規定について その他 管理者候補の承認について その他報告 亀沢七福福祉作業所の移転について

②評議員会

回	開催日	主な審議内容
1	5月30日	24年度事業報告・決算報告・監査報告について 議案1号平成23年度事業報告 議案2号平成23年度決算報告 議案3号平成23年度監査報告 議案第4号 理事・評議員の就任について 議案第5号 事務長の就任について

2	8月30日	議案第6号 24年度新規事業進捗状況について 水耕栽培 ② 相談支援事業 ③施設清掃について(就労支援センター) 議案第7号 職員の福利厚生制度について
3	10月15日	議案8号 理事・監事・評議員の改選について 職員の定年制について その他 プラザまつりの開催について
4	25/1月24日	議案第9号 継続雇用制度の導入について 議案第10号 再雇用職員の就業規則、給与規定の変更について 議案第11号 常勤職員の就業規則・給与規定の変更について
5	25/3月28日	議案第12号 平成25年度予算について 議案第13号 平成25年度事業計画について 議案第14号 セクシャルハラスメント・パワーハラスメント・マタニティハラスメントの規定について その他 管理者候補の承認について その他報告 亀沢七福福祉作業所の移転について

3 監査会の開催

平成25年5月28日9時、プラザ3階多目的室において2名の監事により、業務執行状況及び財産管理、財務執行状況について、監査が行われ、全て適正に執行されていることが確認されました。

1 (2) 資料 職員の研修

24年度は、法人内で職員全員を対象とした研修を実施したほか、外部研修への派遣等を積極的に行いました。

平成24年度 職員研修受講記録

日時	研修内容	受講者
8月30日	ナイスハートバザール担当研修会	大谷主任
8月22日	法人内研修 テーマ 「人権について」 講師 弁護士 阿倍博道氏	さんさん会職員全員対象 (臨時職員を含む) 56名出席
9月18日	東社協主催 障害者虐待防止・権利擁護研修	小久保管理者、黒林主任、 高塚主任、前田事務長
10月24日 11月1日 11月19日	東京都心身障害者福祉センター サービス管理責任者取得研修	広田、笠間 3日間コース
10月1日	障害者虐待防止法に伴う事業者 研修説明会墨田区障害者福祉課	大山理事長、小野坂施設長、 金岡主任、磯井主任
11月27日	障害者虐待防止法について 小野坂施設長講師	さんさん会全職員対象 54名出席
1月 9・10日 1月21・22日 2月13・14日	東社協主催 相談支援従業者初心者研修	金岡主任、黒林主任
1月23・24日 25日	新制度移行福祉会計研修	古屋主任
2月 4日	社会福祉事業者人権研修 第1回	藤代、渡辺
2月 8日	社会福祉事業者人権研修Ⅱ 第1回	磯井主任
2月21・22日	決算実務研修	古屋主任

平成24年度 墨田さんさんプラザ 事業報告

1 利用者の状況

(1) 利用者数・年齢分布

年代	23年度末(24.3.31)			入所		退所		24年度末(25.3.31)		
	男性	女性	計	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
18～19歳	2	1	3	2	1			2	1	3
20～29歳	21	10	31					20	9	29
30～39歳	6	5	11		2		2	7	7	14
40～49歳	4	2	6					5	2	7
50～59歳	1	1	2					1	2	3
60歳以上	4	2	6			1		3	2	5
計	38	21	59	2	3	1	2	38	23	61
平均年齢	32.7歳	33.9歳	33.1歳	5		3		32.3歳	34.3歳	33.0歳

(2) 障害程度区分 25.3.31現在

障害区分	男性	女性	計
6			0
5	1		1
4	2		2
3	2	8	10
2	9	2	11
1	4	2	6
未判定	20	11	31
計	38	23	61

2 開所日数

242日

3 支援の状況

(1) 個別支援計画の作成

個別支援計画（以下「支援計画」という。）は、利用者個々の特性に応じ

たきめ細かな支援を行っていくための指針となるものです。支援計画はひとりひとりのニーズを反映するために利用者、保護者、施設職員の合議で作成します。短期・長期目標や支援の方向性を具体的に明示することによって一貫性のある的確な支援を実現するものです。この計画について、中間報告を9月末に、年間報告書を3月に利用者・保護者に報告しました。3月の報告とともに三者面談を行い、25年度個別支援計画の作成も完了することができました。

<個別支援計画作成プロセス>

時 期	事 項	
3月	①	前年度支援計画の見直し
	②	個別支援計画報告書作成
	③	利用者毎の課題と目標を設定
	④	具体的な支援内容を検討
	⑤	支援計画書担当者案作成
	⑥	担当者(案)の内容審査
	⑦	支援計画案決定
	⑧	個別面談 利用者・保護者に対する計画案の説明
	⑨	個別面談 利用者・保護者からの意見・要望聴取
	⑩	支援計画案修正
	⑪	支援計画決定
	⑫	フェイスシート作成・変更
	⑬	観察等による利用者のデータ収集・ニーズの把握
	⑭	アセスメントシート作成

(2) クラブ活動

毎月第三火曜日の午後にクラブ活動を行いました。

クラブ名	参加者数	主 な 活 動 内 容
スポーツ	20	外ではボール・フリスビー・散歩、室内では卓球等
写真	9	花や風景等の撮影。写した写真を使ったカレンダー作り
カラオケ	19	カラオケ機とCDデッキの2つに分かれての歌
創作活動	8	貼り絵、絵画、ビーズ等の制作

(3) 行 事

平成24年度は次の行事を行いました。

月 日	行事名	内 容	場 所
4月20日	バスハイク	むさしの村(イチゴ狩り)、ヤクルト工場見学	埼玉、茨城方面
6月15日	ボウリング	アイビーボウル様より招待	アイビーボウル向島
9月21日 ~22日	宿泊旅行	リンゴ等収穫体験、こけし絵付け	軽井沢・草津方面
10月21日	スポレク	区主催の障害者(児)スポーツ・レクリエーション大会へ参加	墨田区総合体育館
10月27日	施設まつり	第9回さんさんプラザまつりの実施	墨田さんさんプラザ
11月11日	運動会	法人全事業所による、さんさん会合同運動会	墨田特別支援学校
12月27日	コンサート	ふれあいコンサート	墨田さんさんプラザ
1月7日	新年会	法人全事業所による新年顔合わせ会	曳舟文化センター
2月17日	福祉大会	区主催の障害者福祉大会へ参加 劇「泣いた赤鬼」を上演する	曳舟文化センター
3月28日	コンサート	誰でもコンサート	すみだトリフォニーホール

(4) 健康管理

事業所としての利用者の健康状態把握と利用者の自己管理を促すことの両面から、次のことを行いました。また平成20年度より、体調管理の指針となるように、毎月実施している体重測定の結果をグラフにして配布しています。

方 法	実 施 サイクル	内 容
日常の健康 チェック	毎 日	①入退所時や施設内での活動時における身体状況等の観察 ②体調の変化等に対する迅速な対応
体重測定	月1回	①月初に測定し、毎月の体重変化を把握し健康管理について助言する
嘱託医による 健康相談	月1回	①毎月第2木曜日に嘱託医が来所し、利用者の健康相談や健康講話を行う
定期健康診断	5月30日 6月17日	①医療機関において胸部X線、尿、血液、血圧、内診、心電図等の検査を行う

(5) 安全管理

施設内はもとより、通所途中の事故防止等についても、利用者に対し折にふれて注意を喚起するとともに、希望者には位置検索機の貸し出しを行ない、

通所途中の安全確認と異常時の対応を迅速かつ適切に行ってまいりました。また火災や大地震の発生に備え、5月23日と12月12日に避難訓練を実施しました。

(6) 就労支援

作業所では利用者支援のひとつのゴールとして、就労支援に取り組んでいます。就労希望者には就労に向けた訓練を実施し、求人に関する情報提供をするとともに、就労支援センターと連携を行ってまいりました。今年度の企業就労者はおりませんでした。

(7) 利用者自治会

親睦を目的とした利用者の会“プラザの会”があります。選挙により選出された役員が中心となり会費の運用や行事での企画等に参画しました。職員は直接関わらず、サポートする立場で支援しました

4 授産事業の状況

(1) 総収益 33,999,916円 前年度比 21.7%増
月平均 2,833,326円

(2) 部門別収益内訳

	受注	公園清掃	点字名刺等	パン	クッキー
年計	5,850,221	2,177,004	183,029	4,106,893	2,783,554
月平均	487,518	181,417	15,252	342,241	231,962
前年度比	-1.9%	-1.4%	-24.1%	-9.5%	-14.6%
	喫茶	清掃	緑化	リサイクル	
年計	919,864	14,917,440	1,856,017	1,205,894	
月平均	76,655	1,243,120	154,668	100,491	
前年度比	35.5%	68.2%	-0.1%	0.1%	

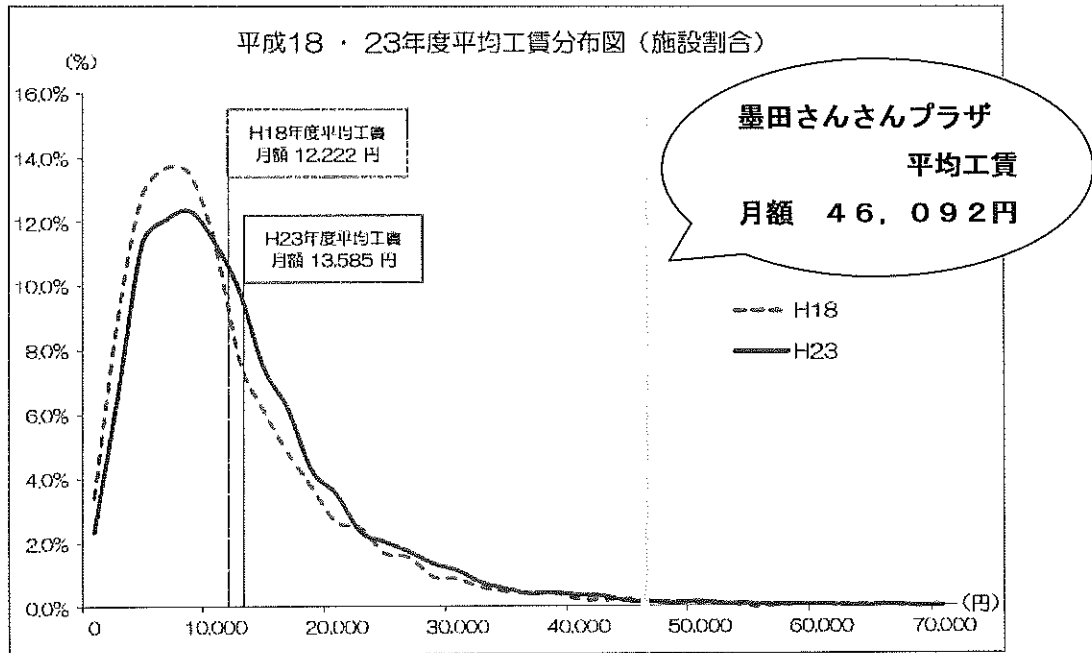
(3) 工賃支払総額 33,999,916円
支払月平均 46,092円 前年度比 5,808円増

◎ 全国授産施設等における工賃支給額との対比
 (厚生労働省ホームページより)

平成23年度平均工賃分布図(工賃倍増5か年計画対象施設)

平成18・23年度平均工賃分布図(工賃倍増5か年計画対象施設)

(※)工賃倍増計画対象施設(就労継続支援B型事業所+授産施設+小規模通所授産施設)



5 職員の任免

	施設長	事務			生活支援員兼作業指導員			栄養士	嘱託医	計
	常勤	常勤	非常勤	臨時	常勤	非常勤	臨時	(兼務)	非常勤	
23年度末	1	1	0	0	5	4	16	(1)	1	28
24.3.31		1			25					
退職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
採用	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
異動	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
昇格	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
24年度末	1	1	0	0	6	1	18	(1)	1	28
25.3.31		1			25					

6 職員の研修

実施日	研修内容	参加者数
8月30日	ナイスハートバザール担当研修会	1
8月22日	法人内研修「人権について」	23
10月1日	障害者虐待防止法に伴う事業者研修説明会(墨田区障害者福祉課)	1
11月27日	施設内研修「障害者虐待防止法について」	18
2月8日	社会福祉事業者人権研修Ⅱ	1

7 地域交流等

墨田さんさんプラザの特色であるパン・クッキーの製造・販売や喫茶コーナー、公園緑化活動や花苗配布の事業活動は、実質的かつ日常的な地域交流として大きな成果を上げています。また、「さんさんプラザまつり」は、地元の方々をはじめ多くの来場者で賑いました。「第9回さんさんプラザまつり」の概要は次のとおりです。

日時	10月27日(土) 午前10時00分～午後2時00分
場所	墨田さんさんプラザ全館・駐車場・平井橋第一公園
主な催し	パン・クッキーの販売、ゲームコーナー、パンジー、ピオラ、ストック、コスモスの苗無料配布、作業公開、作業体験、バザー、区内施設生産品販売コーナー、クラブの作品展示 模擬店(やきそば・うどん・フランクフルト・スイーツバー)、コーヒーサービス、さんさんるーむ施設公開、ビデオ観賞会
来場者数	559人
従事者	152人(利用者、保護者、理事・評議員、職員)

8 福祉サービス第三者評価の受審

(1) 評価機関

評価機関 NPO法人 福祉経営ネットワーク
住 所 千代田区九段南3-4-5番町ビル7A

(2) 評価の手法と内容

24年度の福祉サービス第三者評価は「利用者調査」と「組織マネジメント」、「サービス分析」を実施しました。

(3) 評価結果

全体の講評

総合的な感想では「大変満足」が23名、「満足」18名と7割以上の利用者が満足している。施設として、地域とのつながりを大切に積極的に地域との関係性を深める事業を展開している、個別支援計画策定は流れに沿ったしくみが整備されている、職員と利用者が工賃向上を目指して取り組んでおり、工賃見直しのしくみも個々の利用者のモチベーション向上に役立っている、との評価を得ました。また改善が望まれる点として、サービス水準の維持安定と標準化を図るためにもマニュアルの整備を、との指摘を受けたので、次年度重点課題として取り組むとともに、接遇マニュアル等の作成を検討していきます。

9 本年度の重点課題について

(1) 新規授産事業の取り組み

①施設清掃事業

墨田区から受託した「すみだ障害者就労支援総合センター」施設内及び周辺の清掃事業を今年度より開始しました。従事利用者の育成と清掃技術の向上を図り、業務を遂行しました。

②緑化事業

公園花壇等の管理として「平井橋第一公園」「すみだ障害者就労支援総合センター」に季節に合わせた草花を植えました。またさんさんプラザ屋上にて花苗を育て、地域交流の一環としてプラザまつり等で来場者に配布することができました。水耕栽培は、機材を1階喫茶の一角に設置し、9月より栽培を開始しました。専門家の助言を受け試行錯誤のすえに収穫することができ、試験的に販売をしました。

③自主生産品

スカイワゴンの業務委託を受け、現場でのレジや商品管理と参加施設との調整を行いました。また、2月末から6日間スカイツリータウンソラマチ5階まち処にて「明日に向かって 障害者自主生産品共同販売展」を開催しました。通常業務に加えてのことなので、さんさん会全施設職員の協力のもと、成功を納める事が出来ました。啓発事業としてさんさんプラザのパンとクッキーは地域に浸透することができました。

④職員研修の充実

各職員が様々な分野の研修に参加し研鑽を積みました。特に今年度は「障害者虐待防止法」が施行されましたので、外部での研修会の参加をはじめ、さんさん会内部での研修会も行い、法律の理解を深めました。

(2) 利用者支援の充実

①安全管理の徹底

利用者本人達の自主性を尊重し、極力休み時間等は本人主体の時間として過度の干渉はせず、当番職員が見守るとともに何かトラブルが起ころうなときは未然に防ぐようにしました。

③本人会活動の支援

本人参加の場を提供するとともに、本人たちでは難しい判断のときにはアドバイスをおくりました。一泊旅行での宴会など、本人達の企画をサポートしました。

平成24年度 すみださんさんるーむ 事業報告

これまで同様、緊急性を考慮しつつ利用希望者の期待にこたえられるよう積極的な取り組みをおこなってまいりました。

学齡児の日中利用の増加は続き、特に学校の休校時に多くの利用傾向がみられました。また、重度障害者の利用希望や他区からの利用希望も増加傾向となり、併せて、今年度は新規利用者が増え本事業の必要性を改めて実感しているところです。

こうした状況も踏まえ、できる限りの受け入れに努力を図ってまいりました。近年、努めてまいりました定員に近い利用者を同時期に受け入れる等、効率的な事業運営を図っていく努力も行ってきました。この結果財政面での事業運営も正常な傾向が見られるようになり、安定の域に達したところです。

いずれにしても、必要な人に必要なサービスが受けられる態勢作りを行い、緊急性を配慮した事業運営を目指してまいりました。

1 利用実績

短期入所			
月	利用人数	延べ利用日数	
4	7	11泊	23日
5	9	15泊	31日
6	12	19泊	39日
7	12	17泊	34日
8	15	22泊	44日
9	12	18泊	37日
10	8	13泊	26日
11	13	20泊	40日
12	14	19泊	38日
1	12	19泊	38日
2	13	16泊	33日
3	16	23泊	47日
計	143	215泊	430日
月平均	11.9	17.9泊	35.8日

日中一時		
月	利用人数	延べ利用日数
4	14	53
5	13	38
6	16	54
7	14	59
8	18	73
9	15	51
10	18	54
11	17	54
12	18	61
1	17	49
2	20	54
3	19	61
計	199	661
月平均	16.6	55.1

2 職員体制（平成25年3月31日現在）

管理者 (兼務)	支援スタッフ		計
	常勤	臨時職員	
1	1	3	5

平成24年度 ワクワク工房デイサービス事業報告

1 利用者の状況

(1) 利用者数・年齢分布

年代	23年度末(2012/3/31)			入所		退所		24年度末(2013/3/31)		
	男性	女性	計	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
18~29	1	2	3						1	1
30~39		3	3				1	1	3	4
40~49	1	2	3					1	2	3
50~59	2	5	7	1				3	5	8
60~	1	3	4			1			3	3
計	5	15	20	1	0	1	1	5	14	19
平均年齢	50.4	47	47.9					46.4	48.9	48.3

(2) 利用者数・利用日数

週	23年度末(2012/3/31)			入所		退所		24年度末(2013/3/31)		
	男性	女性	計	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
5日	1	7	8					2	7	9
4日	1	2	3					1	1	2
3日	0	1	1						1	1
2日	0	2	2						2	2
1日	3	3	6					2	3	5
計	5	15	20					5	14	19

(3) 月間利用回数3回以下の利用者

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均	
4	3	4	4	6	7	5	5	5	4	4	5	56	4.667	
												23年度	61	5.083

(4) 障害程度区分

区分	男性	女性	計
2	2	3	5
3	3	7	10
4		1	1
5		2	2
6		1	1
計	5	14	19

	家庭		生活寮		計
	区内	区外	区内	区外	
男性	4		1		5
女性	12		1	1	14
計	16	0	2	1	19

2 開所日数 241日

3 利用実績 平成24年度(3.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
稼働日数	20	21	21	21	20	19	22	21	19	18	19	20	241	20.08
登録者数	20	20	20	19	19	19	19	18	18	18	18	19	227	18.92
出席者数	242	259	254	230	210	198	238	216	212	180	207	219	2665	222.1
1日平均	12.1	12.3	12.1	11	10.5	10.4	10.8	10.2	11.2	10.6	10.9	11	133.1	11.09
新規契約												1	1	
退 所			1				1						2	

4 支援の状況

あらゆる活動を通して、利用者が社会参加と自立を図れるよう又、ともに生きがいを高められるよう、支援をしてまいりました。所外レクリエーションや誕生日会等、できる限り新しい経験が出来るような企画とし実施しました。併せて、四季折々の文化に親しみ、利用者が楽しめる行事を心掛けました。

24年度は、事業体系を「生活介護」へ移行した初年度であり、目的を改めて意識して事業にあたりました。その中で、就労継続支援事業へ1名を移行させることが出来ました。又、社会交流の一環として行っている共同販売事業「スカイワゴン」では、パウンドケーキの売り上げも好調で地域への知名度が広まってきている特に「すみだまち処」で実施したフェスティバルでは、自主生産品の「刺し子」の実演販売を利用者の方たちが行うことが出来、新たな事業方向性を生み出すことができました。

(1) 行事報告

4月	9日お花見 12日保護者連絡会 23日誕生日会(和食のさと)
5月	5日東京スカイツリー見学会 14日火災非難訓練・食事会(リヨン)
6月	8日バスハイク(横須賀・鎌倉方面) 26日ボウリング・誕生日会(バーミヤン)
7月	30日誕生日会(しゃぶ田)
8月	20日誕生日会(どっこい) 29日健康診断
9月	27日誕生日会(和食のさと)
10月	4～5日宿泊旅行(山梨・静岡方面) 21日スポレク 30日誕生日会(リヨン)
11月	11日さんさん会合同運動会 26日地震避難訓練・誕生日会(天狗)
12月	12日誕生日会(リヨン) 17日保護者連絡会 18日ふれあいコンサート 20日クリスマスチャリティ公演(劇団四季)
1月	7日新年顔合わせ会 21日誕生日会(和食のさと)
2月	17日福祉大会 25日誕生日会(バーミヤン)
3月	19日所外レクリエーション(横須賀方面) 29日誕生日会(しゃぶ田)

(2) 参加行事

スポーツレクリエーション大会、さんさん会合同運動会、新年顔合わせ会、福祉大会

(3) 調理支援

毎週水曜日に調理実習を実施しました。

(4) 健康管理

週に1回、体重測定、年に1回、健康診断を実施しました。

(5) 安全管理

年に2回、避難訓練を実施しました。

(6) 新聞発行

月に1回、デイサービス通信を発行しました。

5 重点課題に対する取り組み

(1) 社会交流

墨田区共同販売事業「スカイワゴン」にて毎月、販売担当員として利用者、職員が出店に参加して多くの地域社会と交流を図れました。

また、誕生日会・食事会を活用し出掛けることにより地域との交流をおこないました。

(2) 行事

区主催のスポレクでリレー競技に参加できたことは、利用者の積極性の育成に結びついたものと評価できました。

また、すみだまち処の企画展では、刺し子の実演販売に参加し日常活動の発表の機会となりました。

(3) 安全対策作り

大規模地震を想定した避難訓練を2回実施した。また、歩行に難のある利用者については、階段の上り下りを介助するなど安全確保に努めました。

平成24年度 亀沢七福福祉作業所 事業報告

1 利用者の状況

(1) 利用者数および年齢分布 (25. 3. 31現在)

男性 11名 女性 8名 合計 19名

年齢分布

年代	23年度末(24. 3. 31)			入所		退所		24年度末(25. 3. 31)		
	男性	女性	計	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
18～19歳	0	0	0					0	0	0
20～29歳	1	0	1					1	0	1
30～39歳	6	3	9					5	2	7
40～49歳	2	1	3					3	2	5
50～59歳	1	1	2		1			1	2	3
60歳～	1	2	3					1	2	3
計	11	7	17		1			11	8	19
平均年齢	38.9	47.6	42.3					39.9	49.4	43.9

(2) 障害分布 (25. 3. 31現在)

愛の手帳	男性	女性	計
1度			0
2度	2		2
3度	2	2	4
4度	7	6	13
計	11	8	19

障害程度区分	男性	女性	計
区分1			0
区分2	5	4	9
区分3	1		1
区分4	1		1
区分5			0
区分6			0
未判定	4	4	8
計	11	8	19

2 開所日数

241日

3 支援状況

生産活動等を通し、利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、その知識と能力の向上に必要な福祉サービスの提供に努めました。また、緑化事業や公園清掃等の屋外活動を通して、地域に対する障害者理解のための啓発へとつながるよう努めました。

昨年12月に建物オーナーより、移転要請が発生したため移転先の確保やその対応に追われる年明けとなりました。墨田区の協力もあり年度内には候補地も決定し、移転準備や地域対応に努めました。候補地決定後は、利用者の通所訓練等、安全対策への強化を図りました。年度末には、受注調整をしながらの準備に努めました。

また、年度途中からの懸案事項であった本人会（虹の会）も設立するに至ったことで、利用者の自主性を育成するとともに、これを尊重しながら全面的にバックアップしていきます。

(1) 行事

平成24年度は以下の行事を行いました。

5月5日	スカイツリー内覧	区役所を介し内覧会招待	利用者16名 職員5名
6月15日	ボウリング大会	アイビーボウル向島様より招待	利用者18名 職員4名
7月20日	バスハイク	茨城方面 工場見学他	利用者17名 職員6名
10月21日	スポレク	区主催 障害者(児)スポーツレクリエーション大会に参加	利用者18名 職員6名
12月9日	ふれあいフェスティバル	区主催 ノーマライゼーション推進啓発事業 業務受託	利用者18名 職員6名
12月27日	ふれあいコンサート	新日本フィルによる出前コンサート さんさんプラザ食堂にて	利用者18名 職員5名
12月28日	忘年会	当所食堂にて食事会・カラオケ等	利用者18名 職員6名
1月7日	新年顔合せ会	墨田さんさん会主催 曳舟文化センター	利用者16名 職員6名

1月 17日 18日	宿泊旅行	かんぼの宿浜名湖三ヶ日宿泊 いちご狩り・SL乗車他	利用者16名 職員6名
2月 17日	福祉大会	区主催 障害者福祉大会参加 演目：歌・演奏「生きてる生きてく」	利用者18名 職員5名

(2) 余暇活動

毎月第3火曜日の午後を余暇活動とし、利用者の希望や意見を反映させながら趣味やスポーツ活動を中心に実施しました。

(3) 健康管理の取組み

施設としての利用者の健康状態の把握と、利用者による自己管理の両面から、次のことを行っています。

方 法	実施サイクル	
日常の健康チェック	毎日	体調の変化等に対し、迅速な対応を行いました。
体重測定	月1回	毎月の体重変化を把握し、健康管理について助言しました。
定期健康診断	10月24日	本所保健センターにて胸部 X 線・尿・血液・血圧・内診等の検査を行いました。

(4) 安全管理

施設内及び通所途中の事故防止について、普段から作業所の生活の中で注意を喚起していくと共に、野外行事における職員体制の強化を図りました。

また、火災や大地震の発生に備え、5月22日・1月23日に避難訓練を実施しました。

(5) 就労支援

作業所では利用者支援のひとつのゴールとして、就労支援に取り組んでいます。就労支援センターと連携し、就労に向けた取り組みを行ってきましたが企業就職へは、至りませんでした。

また、法人内においても3事業所が協働している食品トレーの選別について、リサイクルストックヤードでの出退勤や工賃の時給制等、より一般就労に近い労働形態となるよう環境を整備し提供しました。

(6) 食事支援

毎週2回、職員の調理による給食を実施しました。通常の仕出し弁当とは違い、温かみや家庭的雰囲気のある食事を提供することで、利用者から好評を得ています。

4 工賃推移

平成24年度は、前年度実績を大きく上回ることができました。工賃支払額は以下のとおりです。

※（ ）内は一人当たり平均工賃月額

4月	5月	6月	7月	8月	9月
366,904 円 (20,384 円)	462,188 円 (25,673 円)	563,712 円 (31,317 円)	576,348 円 (32,019 円)	666,621 円 (37,035 円)	595,100 円 (33,061 円)

10月	11月	12月	1月	2月	3月
623,620 円 (34,646 円)	623,842 円 (34,658 円)	494,012 円 (27,445 円)	464,934 円 (24,470 円)	464,042 円 (24,423 円)	590,364 円 (31,072 円)

24年度工賃支払総額 6,491,617 円 (前年度比 960,340 円増)
一人当たり平均工賃 29,642 円 (前年度比 2,660 円増)
23年度全国平均工賃 13,742 円 (※注)

※注「工賃倍増五か年計画」対象の就労継続支援B型事業所（6,608施設）
（「平成23年度工賃（賃金）月額の実績について」 厚労省HPより）

5 重点課題への取り組み

(1) 事業所パンフレットの製作

法人本部が中心となり準備を進めてきましたが、事業所移転により、その作業を凍結させました。このため、来年度の完成へ向け取り組んでいきます。

(2) 個別支援計画の作成

個別支援計画書においては、事前に利用者・保護者・事業所で面談を行い、利用者の希望や目標課題を3者で確認した上で作成しました。

これに基づき実施した支援の状況を、年度半ばには中間報告書を作成し配布しました。さらに3者面談を年度末に実施し、今年度の報告と来年度の新たな個別支援計画を作成しました。

また、改善すべき点であった個別ケース記録においても、過不足なく記載し利用者支援の中で活用できるよう努めました。

(3) 第三者評価の受審

利用者に対する福祉サービスの質の向上を図るため、評価機関「特定非営利活動法人 福祉経営ネットワーク」により第三者評価を受審しました。

利用者調査と事業評価（職員調査含む）の2項目について受審し、多角的な観点での評価報告がなされました。

この受審結果を25年度に反映し、より質の高いサービスが提供できるよう努めていきます。

(4) 自主生産

自主生産品のチョコレートケーキを、「さんさんプラザまつり」や墨田福祉作業所主催「ふれあいまつり」での販売、ソラマチ4F「すみだまち処企画展」への出品等、イベントに合わせて製造・販売しました。その中で、パッケージングや販売方法等において新たな発見や改善点を見出し、今後の販売促進へつながる良い経験となりました。

平成24年度 向島七福福祉作業所 事業報告

1 利用者の状況

(1) 利用者数・年齢分布

男性 10名 女性 8名 合計 18名

年齢分布

年代	23年度末 (24.3.31)			入所		退所		24年度末 (25.3.31)		
	男性	女性	計	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
18～19歳	0	0	0					0	0	0
20～29歳	0	0	0					0	0	0
30～39歳	3	0	3					3	0	3
40～49歳	1	4	5					1	4	5
50～59歳	4	2	6	1	1			5	3	8
60歳～	1	1	2					1	1	2
計	9	7	16	1	1	0	0	10	8	18
平均年齢	48.2	49.6	48.8	2		0		49.3	51.4	50.2

(2) 障害内容 (25.3.31現在)

知的障害 愛の手帳	男性	女性	計
1度	0	0	0
2度	0	1	1
3度	4	3	7
4度	6	4	10
計	10	8	18

(このうち、身障手帳3級が1名)

(3) 障害区分

障害区分	男性	女性	計
2	5	5	10
3	3	1	4
4	1		1
未判定	1	2	3
計	10	8	18

2 開所日数

241日

3 支援状況

就労継続支援B型事業所として、ひとりひとりのニーズを反映する為、利用者、保護者、施設職員で個別面談を行い、それを基に施設内外での日常生活を通して、必要な知識や能力を向上させていく事が出来るよう、利用者本位の支援体制の下、福祉サービス

の質の向上を目指しました。また全職員が共通認識を持ち、知的障害者のニーズに柔軟に対応し、安定したサービスの提供が出来るよう努めました。

(1) 行事

平成24年度は次の行事を実施しました。

6月 1日	ボウリング大会	アイビーボウル向島様より招待	アイビーボウル向島
7月 6日	バスハイク	(株)エフピコ関東リサイクル工場見学	茨城方面
10月 21日	スポーツ・レクリエーション大会	区主催の障害者(児)スポーツ・レクリエーション大会に参加	墨田区総合体育館
11月 1日 ~2日	宿泊旅行	ニューグリーンピア津南宿泊、ワイナリー見学、味噌作り、キノコ狩り、リンゴ狩り	新潟県津南方面
11月 11日	さんさん会大運動会	法人全事業所によるさんさん会合同運動会	墨田特別支援学校
12月 18日	クリスマスコンサート	新日本フィルより出張コンサートに参加	ワクワク工房デイサービス
1月 7日	さんさん会新年会	法人全事業所による新年顔合わせ会	曳舟文化センター
2月 17日	福祉大会	区主催の障害者福祉大会へ参加「ジンギスカン」を踊りました	曳舟文化センター
3月 28日	所外活動	誰でもコンサートに参加、昼食後すみだ水族館見学	トリフォニーホール、すみだ水族館

(2) 余暇活動

平成24年度は次の余暇活動を実施しました。

4月 25日	カラオケ大会	利用者が好きな曲を選び、歌って楽しむ	向島七福作業所
5月 30日	ビデオ鑑賞	ハッピーフィート2のビデオ鑑賞	向島七福作業所
7月 3日	ところてん作り	5班に分け、ところてんを作り全員で試食	向島七福作業所
7月 25日	参加種目確認	スポレクの参加種目決定、花文字花作成	向島七福作業所
8月 28日	うちわ作り	利用者がそれぞれのうちわに色を貼り、作成	向島七福作業所
9月 20日	卓球・リレー練習	所内で卓球を楽しむ人と、リレーの練習する人に分かれる	向島七福作業所
10月 10日	蕨もち作り・リレー練習	所内で蕨もちを作る人・リレーの練習する人に分かれ、出来あがった品を全員で試食	向島七福作業所
11月 14日	ビデオ鑑賞	宿泊旅行のビデオを全員で鑑賞	向島七福作業所
12月 28日	お楽しみ会	お茶会・皆でビンゴゲームを楽しむ	向島七福作業所
1月 22日	福祉大会練習	福祉大会に向けて、ダンスの練習をする	向島七福作業所
2月 5日	福祉大会練習	福祉大会に向けて、ダンスの練習をする	向島七福作業所

(3) 健康管理の取り組み

施設として利用者の健康状態の把握と利用者の自己管理の両面から、次のことを行っています。

方法	実施サイクル	内容
日常の健康チェック	毎日	体調の変化等に対する迅速な対応
体重測定	月1回	毎月の体重変化を把握し、健康管理について助言する
定期健康診断	10月24日	医療機関において胸部X線・尿・血液・血圧・内診・心電図等の検査を行いました

(4) 安全管理

事業所内及び通所途中の事故防止について、普段から作業所の生活の中で注意を喚起していくと共に、野外行事における職員体制の強化を図りました。また、火災や大地震の発生に備え、緊急時の心構えや行動の要領を身に付け、利用者を迅速かつ安全に避難させる行動要領を習得するため、年2回の避難訓練を実施しました。

実施日 平成24年7月11日・12月14日

(5) 就労支援

作業所では利用者支援の一つのゴールとして、就労支援に取り組んでいます。就労支援センター等と連携し、就労に向けた取り組みを行ってきました。

今年度は、就労を希望する利用者はいませんでした。

(6) 食事支援

毎週2回、職員の調理による給食を実施しました。通常の仕出し弁当では感じることのできない温かみや家庭的雰囲気のある食事を提供することで、利用者から好評を得ています。

4 工賃推移

前年実績を上回り、平成24年度の利用者工賃の毎月平均と総額は以下の通りです。

4月	5月	6月	7月	8月	9月
¥565,063 (¥35,316)	¥588,311 (¥36,769)	¥662,239 (¥41,390)	¥614,786 (¥38,424)	¥825,186 (¥51,574)	¥555,274 (¥34,705)
10月	11月	12月	1月	2月	3月
¥664,034 (¥39,061)	¥699,916 (¥41,172)	¥567,574 (¥33,387)	¥575,778 (¥33,869)	¥513,781 (¥30,222)	¥519,165 (¥30,539)

()内は一人平均

24年度工賃支払総額 7,351,107円
一人平均 37,202円

5 重点課題への取り組み

① 職員会議の充実

職員会議では、利用者に関することは共通認識が持てるよう、また利用者が希望していることなどを反映できるよう話し合いました。

②利用者の休憩時間の充実

休憩時間には、話しかけてくる利用者に耳を傾け、利用者が話しやすい環境作りに配慮しました。また相談に来た時は、利用者の思い・希望などを優先して聞くよう努めました。

③個別支援計画の策定

利用者・保護者との面談により、それぞれの要望を伺い、目標・課題を確認し、支援の充実を図る為の計画を作成しました。

④第三者評価の受審

今年度はNPO法人福祉経営ネットワークにて受審したが、全体の講評として、工賃向上に向けて積極的な展開と実現が出来ており、家庭的で働きやすい職場となっていること、個別支援計画はアセスメントの充実から作成されていることが良い点として挙げられていました。改善点としては、体系的な人事制度の確立、施設や利用開始時の情報提供の工夫、利用者の意見や要望が反映される仕組み作りなどがありました。今後利用者にわかりやすい情報提供を心掛け、本人会発足のサポートをしていきたいと思えます。

⑤自主生産活動

2月末から6日間のスカイツリータウン5階まち処の障害者自主生産品共同販売店にて、自主生産品の袋物「お袋さん」を初めて販売しました。これからも作業工程の中に、利用者の作業幅がもっと拡大できるよう努めていきます。

平成24年度 ほ一む大洋 事業報告

平成21年4月に開設し、丸4年無事に過ぎることができました。グループホーム・ケアホームとして、開設と同時に6名の方々を迎え、さらに1名増え、現在7名の方々がお互い生活習慣や対人関係にも慣れ、安定した毎日が過ごせたと思います。

穏やかで家庭的な雰囲気作りと、入居者一人ひとりを大切にできる環境整備を目指して1年間努力してきました。こうした中で、入居者の方々も生活基盤ができ、落ち着いてきました。

今後も、安心して暮らせるような環境作りと職員体制の強化、健康管理や安全管理に留意して、さらなる自立の向上を目指してまいります。

1 入居者の状況

① 入居者数・年齢分布

年代	男	女	計
20代			
30代	2		2
40代	1	1	2
60代	1	2	3
計	4	3	7

② 障害区分

区分	男	女	計
1		1	1
2	1	1	2
3	2	1	3
5	1		1
計	4	3	7

③ 日中活動

	男	女
一般企業	2	1
福祉作業所	2	2

2 職員体制

	管理者(兼務)	常勤	非常勤
管理者 サービス管理者	1(兼)		
世話人		1	5
生活支援員			

3 支援状況

① 個別支援計画の作成

個別支援計画は、個々の特性に応じたきめ細やかな支援を行っていくための指針となるものです。支援計画は、一人ひとりのニーズを反映するために入居者、保護者、関係機関の職員とほむ職員の合意のもとに作成しました。

これに基づき、短期・長期目標や支援の方向性を具体的に明示し、目標実現を図ってまいりました。

② 行事

誕生会	4月・7月・8月・1月	アイビーボール・カラオケ デニーズ他
花火大会	7月	大洋屋上
クリスマス会	12月	大洋食堂
宿泊体験	1月	赤倉温泉

③ 健康管理

朝食時や夕食時に入居者ひとり一人の健康状態を把握し、日中活動への参加を支援すると共に、疾病時には病院に付き添うなどの支援をし、健康管理の維持に努めてまいりました。

④ 安全管理

個々の障害を理解し、安全で快適な住居の環境整備に努めました。

⑤ 日中活動への支援

入居者が毎日健康で日中活動が維持できるよう、施設や職場との連携を図り、生活の状況等の相互関係に努めました。

⑥ 行事参加への支援

区・各作業所・親の会など主催の行事への参加希望者には、職員と一緒に同行し、さらに近めの行楽地に出かける機会も多くもて、楽しい思い出作りに努めました。宿泊体験を計画し、実施できたことで余暇活動の充実が図れました。今後も行事として毎年、実施できるよう努めてまいります。

⑦ 虐待防止

虐待防止について研修会に参加したり、全職員と研修会を開き周知の徹底に努めました。

平成24年度 ほーむアンブレラ 事業報告

平成22年2月に開設し、3年を無事過ごす事ができました。グループホーム・ケアホームとして、開設と同時に14名の方々を迎え、心をこめた朝夕の食事提供、リラックスして1日が終われるよう毎日の入浴準備、個々の相談にも十分に対応し、安心して暮らせるような環境づくりを心がけてきました。

入居者の皆さんも生活習慣や対人関係にも慣れ、だいぶ落ち着いてきたように思います。

今後は、職員体制を強化し、安全管理や健康管理に留意して、さらなる自立の向上を目指してまいります。

1 入居者の状況

① 入居者数・年齢分布

年代	男	女	計
20代	3		3
30代		1	2
40代	4	1	4
50代	2	1	4
60代	2		1
計	11	3	14

② 障害区分

区分	男	女	計
1	4		4
2	3	1	4
3	2	1	3
4			
5			
6	2	1	3
計	11	3	14

③ 日中活動

	男	女	計
一般企業	2		3
福祉作業所	6	1	6
ワクワク	1	1	2
ひだまり	1	1	2
はばたき	1		1
計	11	3	14

2 職員体制

	常勤	非常勤	計
管理者 サービス管理者	1 (兼)		1
世話人	1	9	10
生活支援員	1	1	2
	3	10	13

3 支援状況

① 個別支援計画の作成

個別支援計画は、入居者個々の特性に応じたきめ細やかな支援を行っていくための指針となるものです。個別支援計画はひとり一人のニーズを反映するために入居者、保護者、関係機関の職員、ほむの職員の合議のもとに作成しました。これに基づき短期・長期目標や支援の方向性を具体的に明示し、目標実現を図ってまいりました。

② 行 事

暑気払い	8月	アンブレラ食堂
忘年会	12月	
誕生会	4月・7月・8月・10月 12月・1月・3月	
所外レク	12月	富士サファリパーク

③ 健康管理

朝食時や夕食時や帰寮のさい、入居者一人ひとりの健康状態を把握し、日中活動への参加を支援すると共に、疾病時には病院に付き添うなどの支援をし、健康管理の維持に努めてまいりました。

④ 安全管理

個々の障害を理解し、安全で快適な住居の環境整備に努め、火災や大地震の発生に備え、6月と12月に避難訓練を実施しました。

⑤ 日中活動への支援

入居者が毎日健康で日中活動が継続されるよう。また、施設や職場との連携を図り、生活の状況等の相互関係に努めました。

⑥ 行事参加への支援

区・各作業所など主催の行事への参加希望者には、職員やヘルパーさんが一緒に同行し、楽しい思い出作りに努めました。余暇活動の充実を図るため、計画、実行することができました。

今後、行事として毎年できるよう努めてまいります。

⑦ 虐待防止

虐待防止について、研修会に参加したり、全職員と研修会を開き、周知の徹底に努めました。

平成24年度 相談支援センターさんさん 事業報告

福祉サービスを利用する人、全てがこの相談事業の対象となりました。24年度はその制度のスタートの年でもあり、今後27年度までに全ての利用者がその対象者になります。24年度は3人、一般相談の方が新たに就労支援B型を希望されたことで区と調整、連絡を取りながらご本人の意向に沿った相談を行いました。また、さんさん会に在籍されている利用者については、相談に先立ちその資料となるフェイスシート、アセスメントシート等の様式の充実を図り、今後の相談事業がスムーズに進むよう準備を行って参りました。

1 利用実績

	性別	年齢	障害程度区分	希望	2013年3月末現在状況
1	男	18	2	就労継続支援B型	墨田さんさんプラザ在籍
2	女	59	-	就労継続支援B型	向島七福福祉作業所在籍
3	女	55	-	就労継続支援B型	亀沢七福福祉作業所在籍

2 職員体制（平成25年3月31日現在）

管理者(兼務)	相談支援専門員(兼務)	計
1	1	2